

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名: 浜田 妙子

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の 内容	関連領収 書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
	R7. 4. 5	米子市西福原	浜田妙子事務所	小 林 友 子 氏 (食育セミナー 事業所「moco」 代表)	「食事の大切 さ」をテーマ にした講演と 意見交換会。	4-5
	R7. 6. 21	米子市西福原	浜田妙子事務所	根 平 雄 一 郎 氏 (伯耆文化研究 会会長)	「玉栄丸事故 を語り継ぐ」を テーマにした 講演と意見交 換会。	6-3
R7. 6. 30～ 7. 1	R7. 7. 1 10:30～ 18:30	大阪市此花区	大阪・関西万博 関西パビリオン 他	関 西 パ ビ リ オ ン 鳥 取 県 ブ ー ス 関 係 者 他	大阪・関西万博 における鳥取 県の魅力発信 イベント視察。	7-1
R7. 9. 8～ 9. 9	※県外調査 キャンセル	南国市、高知市	高知大学、高知 県庁、合同会社 シーベジタブル	深 田 陽 久 氏 (高知大学教授)	※療養のため 県外調査をキャン セル	9-2
	R7. 10. 18	米子市西福原	浜田妙子事務所	新田ひとみ氏 (NPO法人 中海 再生プロジェクト 理事長)	「食品添加物」 をテーマにした 講演と意見交 換会。	10-2
R7. 10. 20 ～10. 21	R7. 10. 20 13:00～ 17:00 R7. 10. 21 9:00～ 12:00	①雲南市掛合 町 ②仁多郡奥出 雲町 ③松江市内中 原町	①波多コミュニ ティ協議会 ②株式会社 加 地 ③島根県議会 議事堂別館	①木村守登氏 (波多コミュニ ティ協議会会長) ② 氏 (株)加地 管理 グループ総括担 当マネージャー) ③島根県環境 生活部、農林水 産部、防災部	①過疎化・高齢 化が進む地域 での取組みに ついての調査。 ②事業内容に ついての聞き 取り、工場見学 ③両県の施策 や事業に関する 情報交換およ び意見交換。	10-3 3-12
	R7. 10. 31	西伯郡大山町	大山農村環境 改善センター	野 田 満 氏 (さんそデザイ ン共同代表) 他	過疎地域の取 組みについて 聴講。	10-12
	R7. 11. 29	米子市西福原	浜田妙子事務所	天 野 依 子 氏 (指談の会 ゆび さき代表)	「指談」をテー マにした講演 と意見交換会。	11-11

・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会

場代、講師謝金等)に政務活動費を充当する場合に記載すること。

- ・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告(県外・国外)」を提出すること。

活 動 報 告（~~県外~~・~~国外~~）

議員名： 浜田 妙子。

活 動 事 項	大阪・関西万博視察
活 動 年 月 日	令和7年7月1日（火）
場 所	大阪・関西万博会場（大阪市此花区）
活動の相手方	関西パビリオン鳥取県ブース関係者、イベント参加者
活 動 の 目 的	万博来場者や関係者の反応や感想をリサーチし、鳥取県のイメージアップ、認知度アップ、販路拡大のためにどのような仕掛けや仕組み、鳥取県の魅力の伝え方を考察する。
活 動 の 内 容	大阪・関西万博の鳥取県イベント「今日は一日鳥取県～まんが王国とっとりの魅力～」でのイベントやステージを視察し、来場者や関係者の鳥取県への関心やイメージについて調査する。
活動の結果等	万博を通じて鳥取県の自然、特産物、食文化、まんが、伝統芸能等、様々な角度から鳥取県の魅力を県外、国外の方々に認知してもらうことができた実感した。 観光やI・U・Jターンにつなげていくためにも今後も継続して大都市圏や国外への情報発信や関係づくりを促進していく。 外に向けての活動だけでなく県民に対して鳥取県への愛着や誇り、地域のつながりを深める活動について後押ししていく。
関連領収書番号	7-1

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名： 浜田 妙子

活 動 事 項	鳥取県議会「民主とっとり」と島根県議会「民主県民クラブ」との合同研修会
活 動 年 月 日	令和7年10月20日(月)～21日(火)
場 所	①雲南市掛合町 ②仁多郡奥出雲町 ③松江市内中原町
活動の相手方	①波多コミュニティ協議会会長) ②株式会社 加地 ③(1)島根県環境生活部(2)農林水産部(3)防災部
活 動 の 目 的	鳥取県と島根県の両県における課題について現地調査や情報交換、意見交換を通じて施策提言や会派活動に資する。
活 動 の 内 容	①過疎化・高齢化が進む地域で安心、安全に暮らし続けるための取組みについての調査。無店舗地域解消のためのマーケットおよび移動手段確保のための「たすけ愛号」の見学。②事業内容や独自開発素材の開発や販路開拓についての聞き取り。工場見学、意見交換。③(1)島根かみあり国スポ・全スポ2030の準備状況について聞き取り。(2)島根県の農業施策についての聞き取り。(3)原子力防災に係る避難計画についての聞き取り。
活動の結果等	①人口減少、高齢化、産業衰退といった課題を抱える本県でも持続可能な地域づくりは各地域が主体性を持って取り組む必要があると考える。その取組みを実施できる体制の後押しをしていきたい。 ②地域発ブランドにこだわり、独自開発した高機能素材を活用し自社工場で製造するビジネスモデルは、独自の価値を提供できる強みである。ものづくり、研究開発、販路開拓などの取組みの支援を強化したい。 ③(1)島根かみあり国スポ・全スポ2030の準備状況を参考に、2033年に鳥取県で開催される国スポ・全スポの開催準備に活かしたい。 (2)農業の現状と課題、目標や重点的な取組みについての意見交換を通じ見えてきた課題の解決、目標達成に働きかけていく。 (3)原子力災害対策は実効性が重要であり、具体的な避難計画や要援護者対策が必要となる。地域の防災計画の充実化を支援し、避難計画への理解がより深まるよう後押ししていく。
関連領収書番号	10-3, 3-12